

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	912.44	2023/02/27
High	984.39	2023/03/03
Low	909.05	2023/02/27
Close	981.31	2023/03/03

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4004.00	2023/02/27
High	4298.00	2023/03/03
Low	3985.00	2023/02/27
Close	4285.00	2023/03/03

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1406.00	2023/02/27
High	1464.90	2023/02/27
Low	1395.00	2023/02/28
Close	1452.00	2023/03/03

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6172.00	2023/02/27
High	6410.00	2023/02/27
Low	6117.00	2023/02/27
Close	6343.00	2023/03/03

ニュースエクスプレス

シバニェ・スティルウォーター、南アの貴金属生産の展望に電力不足問題が「深刻」な影響

シバニェ・スティルウォーターは、南アフリカの電力節減が現在のペースで続けば坑道施設などが早々に閉鎖され、それによって政府が得る鉱山セクターからの税収入とロイヤルティ収入が減るため、政府が計画している電力会社エスコムの立て直しに影響するなど、「深刻な」結果をもたらすと警告している。

同社の南アフリカ地域の最高執行責任者Richard Stewart氏は、昨年の第4半期中にエスコムの電力節減量と停電時間が増えた結果、ゴールド生産は48キロ、PGMsは701キロの減産となったとしている。

電力節減がこのペースで今年も続けば、「我々の生産全体の15%、南アフリカの産業全体も同レベルの減産」となるとの見方を示した。これはシバニェ・スティルウォーターの今年のゴールド生産予測の上限3.7トン、PGM生産予測、8.4トンに相当する。

同氏はさらに、昨年のゴールドとPGM生産は増加している銅線ケーブルの盗難に大きな影響を受けたことにも言及。「ゴールド生産は特に打撃を受けた。第4四半期にはケーブルの窃盗が第1四半期の4倍になった。」

「銅線ケーブルの窃盗は組織的な犯罪集団が背後におり、防止には多方面からの協力が必要だ。」

こういった架線の盗難で昨年2月に高圧電線用の鉄塔が倒れ、ヨハネスブルグの西にあるシバニェ・スティルウォーターのCooke炭坑で電力が切断されて、メンテナンスのために地下坑道にいた20人の作業員が3時間閉じ込められた。

南アフリカの鉱山・エネルギー省トップのGwede Mantashe氏は、昨年9月に「特別警察隊」を結成し、2019年は490億ランド相当とされる違法採掘の取り締まりに対処するとしていた。

<https://www.miningmx.com/news/gold/52630-sibanye-stillwater-warns-metals-production-outlook-dire-if-curtailments-persist-in-2023/>

ロジウム、売り圧力

欧州株式市場は強気で週明けを迎えたが、今日（2月28日）は再び沈静。フランスのインフレが過去最高（前年比+7.2%）となったことがセンチメントを押し下げ、欧州中銀（ECB）のさらなる政策金利引き上げへのプレッシャーが強まっている。欧米の時間の前のアジア市場もその動きは芳しくなく、月曜日（2月27日）の強気だった欧州と米国市場の恩恵を受けることはなかった。世界の市場は引き続き政策金利の動きに敏感になっており、特に輸出大国の中国に対する影響が大きい。

欧米での再生可能エネルギーへの転換の動きが税制優遇と政府の援助に繋がり、それが、PGM価格の支援材料となっている。プラチナ価格とパラジウム価格は、昨日（2月27日）の米国市場開始直後は多少持ち直したが、その後下落し火曜日（2月28日）の朝の欧州のスポット価格は下落したまま。

ロジウム価格は中国の売り圧力でその後の取引セッションでさらに下落し、心理的ラインとなる1万ドル/オンス近くとなった。アナリストらによるとこの売り圧力はガラス産業のユーザーからの圧力がきっかけとなっている可能性があり、自動車セクターからの需要も弱まる中で、規模の小さいロジウム市場にはさらなるプレッシャーとなっている。

南アフリカは今年初めにも再び電力供給の問題に見舞われ、PGM供給に影響して価格を下支えする可能性がある。

世界最大のパラジウム生産会社、ノリリスクニッケルは水素燃料産業向けにパラジウムベースの触媒の生産を検討中。同社は現在プロトタイプの開発中で、完成すれば中国市場で試される。現状、水素燃料セクターの触媒はプラチナとイリジウムが主流。

<https://pmm.umicore.com/storage/pmm/umicore-daily-report.pdf>

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 気候変動を食い止めるための技術的な解決策のスケールが拡大するにつれ、それに不可欠な重要鉱物が「循環経済」（circular economy）の考えに基づいた枠組で生産され供給されるべきだという認識が高まっている。自動車触媒に使われているプラチナの90%以上は、既存のリサイクル産業によって廃車の触媒装置から回収されている。中国では、ジョンソン・マッセイがシノペックとともに、循環経済の中でのグリーン水素、ブルー水素、燃料電池、脱炭素化技術とそのビジネスの可能性を探る。詳しくはプラチナ豆知識（プラチナと循環経済）をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>



@wpicjapan

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。